

平成 23 年 10 月
新潟市福祉部障がい福祉課

重症心身障がい児（者）のサービス利用に関する調査結果

I 調査の概要

1. 調査の目的

新潟市内に居住する重症心身障がい児（者）（以下、重心児（者））の家族に対し、障がい児（者）のサービス利用の実態や希望等を調査し、今後の障がい福祉施策の推進に資することを目的とする。

2. 調査対象・基準日

平成 22 年 9 月 1 日を基準日とし、市内在住の重症心身障がい児（者）の保護者を対象に調査を行った。

3. 調査時期

平成 22 年 10 月 8 日～10 月 25 日

4. 調査対象者数・回答者数および回答率

調査対象者数 336 人

回答者数 208 人

回答率 61.9%

5. 調査方法

郵送による質問紙調査

6. 調査項目

- (1) 基本属性、障がいの概要、医療行為の有無、相談機関の有無
- (2) 通所サービス利用の状況
- (3) 短期入所サービス利用の状況
- (4) ホームヘルプ・訪問看護・訪問入浴利用の状況
- (5) 必要なサービスの希望
- (6) 今後の障がい福祉施策への希望

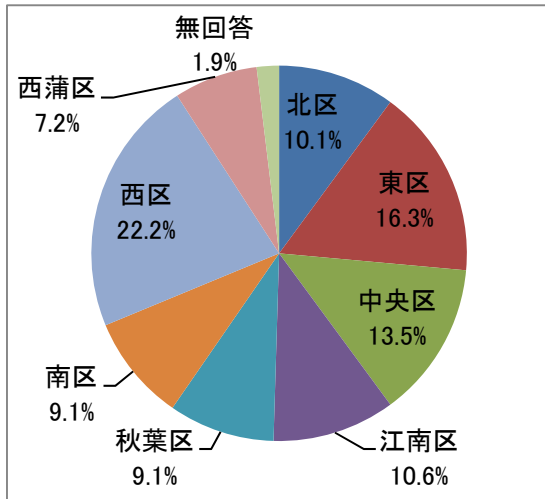
Ⅱ 調査結果

1. 基本属性

(1) 重心児（者）の居住区

回答者の中では、西区に居住する重心児（者）が最も多く、全体の22.2%を占めている。続いて多かったのは、東区（16.3%）、中央区（13.5%）であった。

<図1 障がい者の居住区>



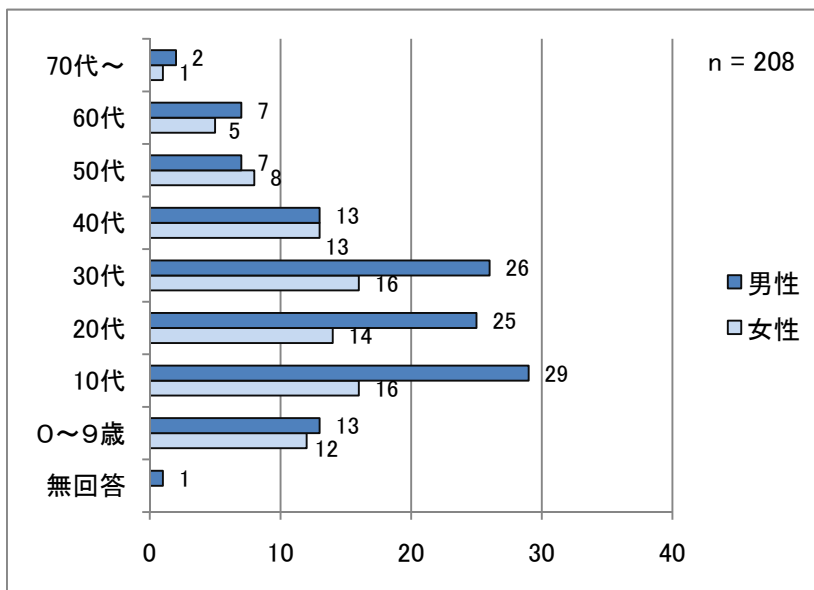
<表1 障がい者の居住区>

区	重心(児)者数		(参考) H22.10 月末人口
	数	全体に占める割合	
北区	21	(10.1%)	77,767
東区	34	(16.3%)	138,831
中央区	28	(13.5%)	173,255
江南区	22	(10.6%)	69,480
秋葉区	19	(9.1%)	78,668
南区	19	(9.1%)	47,443
西区	46	(22.2%)	156,556
西蒲区	15	(7.2%)	61,985
無回答	4	(1.9%)	-
計	208	(100.0%)	803,985

(2) 重心児（者）・介護者の年代

回答者のうち、重心児（者）の年代では男女ともに10代が最も多く、介護者の年代では30代～40代が最も多くを占めている。

<図2 障がい者の性別・年齢> n=208



<表2 介護者の年代>

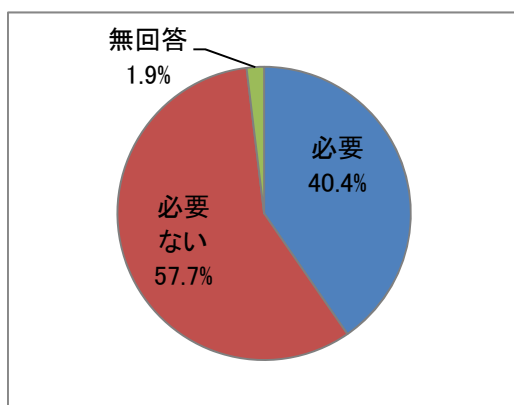
70代～	5	(2.4%)
50代～60代	77	(37.0%)
30代～40代	88	(42.3%)
～20代	27	(13.0%)
無回答	11	(5.3%)
計	208	(100.0%)

(3) 医療行為について

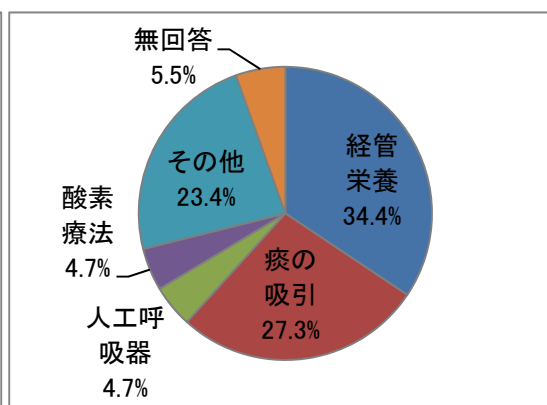
医療行為の有無については、「必要ない」が57.7%、「必要」が40.4%を占めている。

また、医療行為が「必要」と答えた場合の、医療行為の内容については、経管栄養(34.4%)が最も多く、次いで痰の吸引(27.3%)であった。その他(23.4%)の内訳は、主にてんかんの投薬、服薬管理等であった。

<図3 医療行為が必要か>



<図4 必要な医療行為(複数選択可)>



(4) 平日の日中の過ごし方

平日の日中の過ごし方について、全体では「通所している」が32.6%と最も多い。

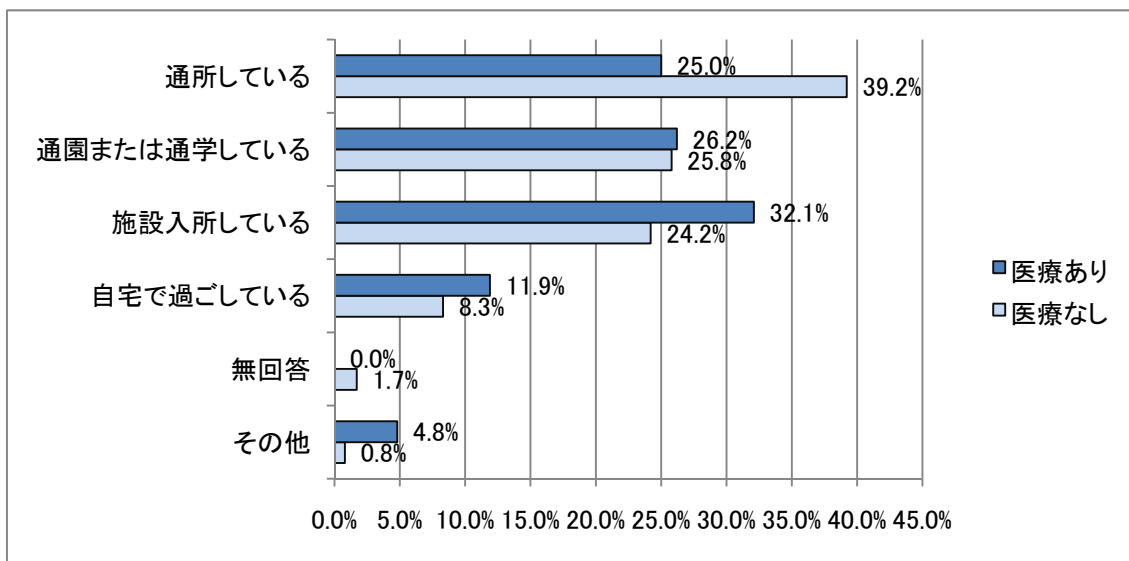
医療の有無別でみると、医療行為が必要ない場合では、「通所している」が69.1%で最も多く、次いで「通園または通学している」の25.8%であった。

医療が必要な場合では、「施設入所している」が32.1%と最も多く、次いで「通園または通学している」の26.2%であった。

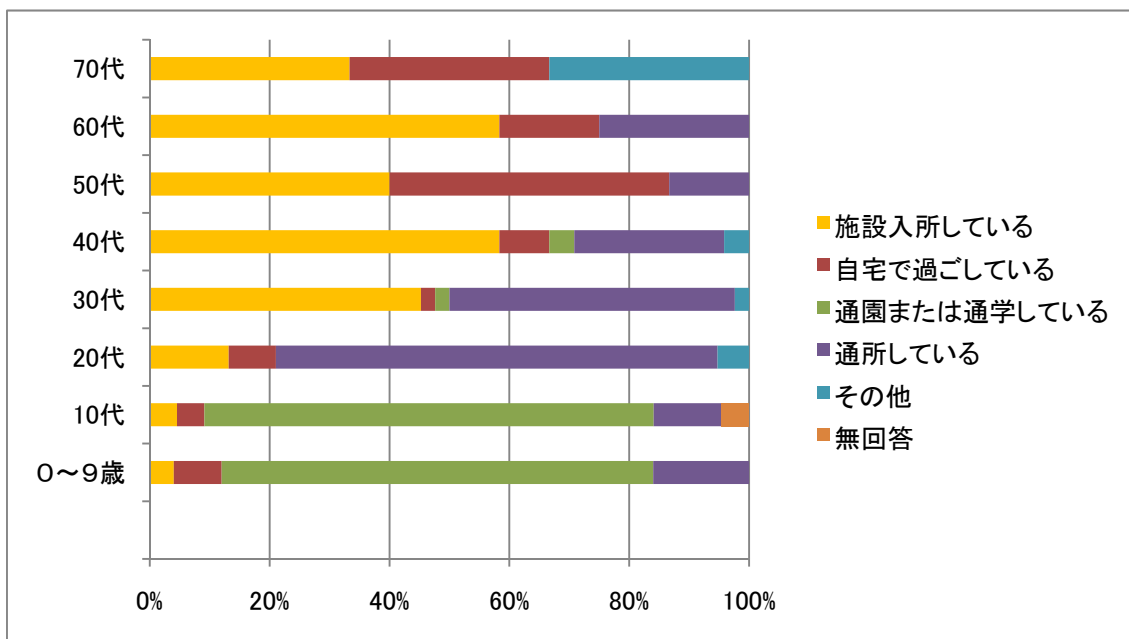
年代別でみると、高齢者ほど「施設入所している」の占める割合が高い。また一方で、50代を筆頭に、高齢者が「自宅で過ごしている」割合も高くなっている。

「その他」については、入院中であるという回答が最も多かった。

<図5 平日の日中の過ごし方(医療行為の有無別)>



<図6 平日の日中の過ごし方(年代別)>



(5) 障がいについての相談

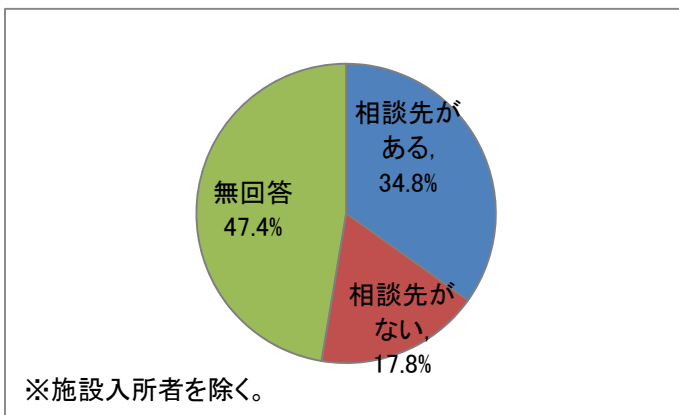
「障がいについて相談できるところがあるか」と尋ねた結果は以下のとおりである。

施設入所者については、施設職員が相談先として想定されることから、以下の集計には含まれていない。

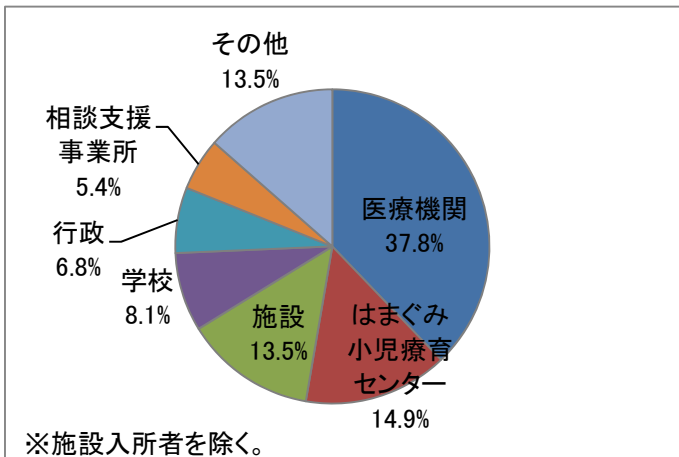
在宅の場合の相談先について集計したところ、以下のとおりであった。「相談先がある」のうち、相談先として最も多かったのは「医療機関」(37.8%)、次いで「はまぐみ小児療育センター」(14.9%)であった。

相談先の有無に対し「無回答」が最も多く、「無回答」のうち、通所または通学・通園している者が最も多く(90.2%)を占めている。

<図7 相談先の有無>



<図8 相談先>



2. 通所サービス

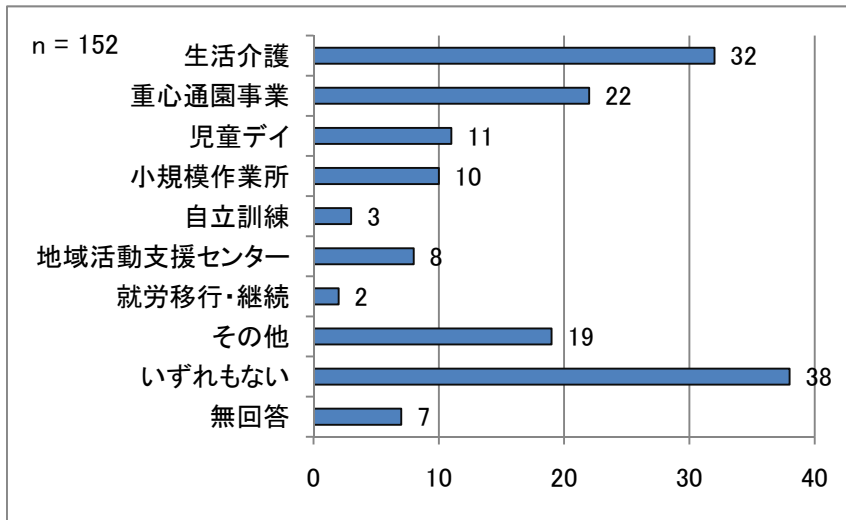
(1) 1年以内に利用したことがある通所サービス

施設入所者を除いた 152 名について、過去 1 年以内に利用したことがある通所サービスは下記のとおりであった。

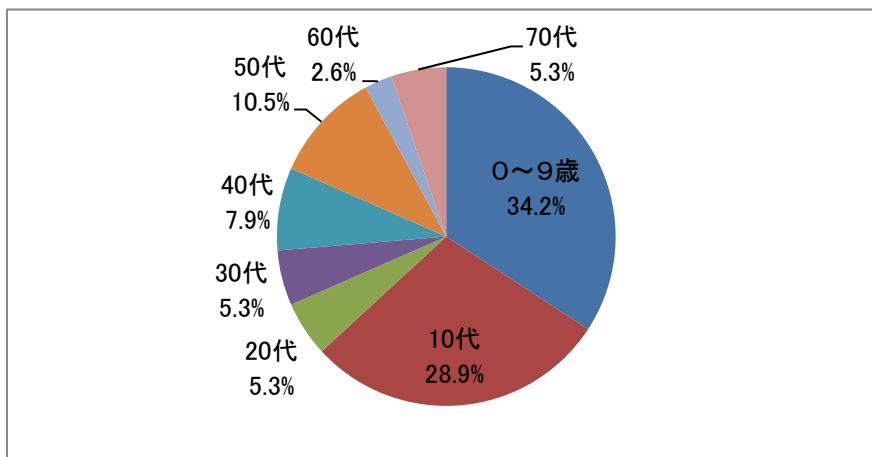
利用実績のある通所サービスでは生活介護が最も多く、次いで重症心身障害児（者）通園事業が多い。いずれのサービスも看護師の配置が義務付けられているためと推察される。

また、「いずれもない」と答えた者のうち、0 歳～9 歳および 10 代が占める割合が最も多い（63.1%）。

<図 9 1 年以内に利用したことがある通所サービス>



<図 9-2 1年以内に利用したことがある通所サービスが「いずれもない」>



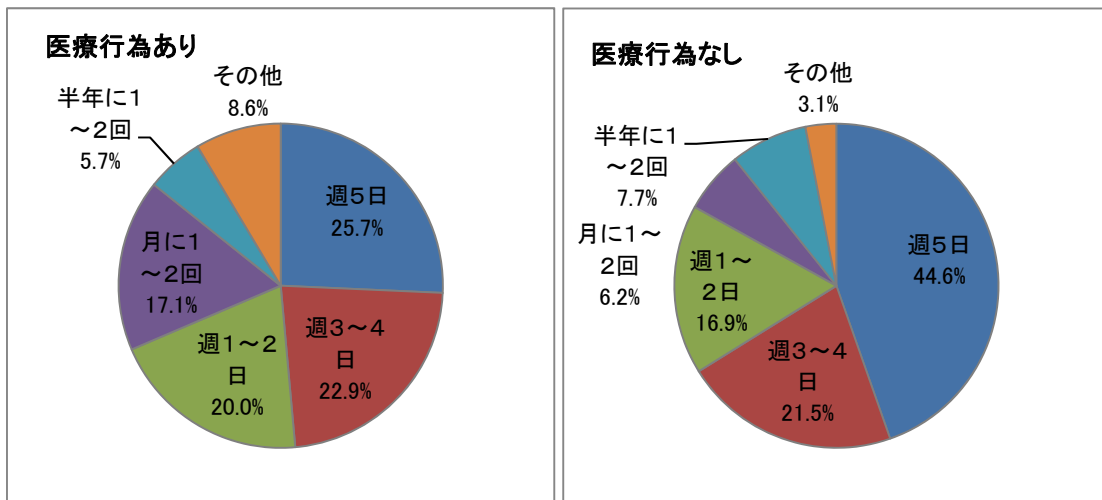
(2) 通所サービスの利用頻度

日中の過ごし方で「通所している」と回答した場合の、通所の頻度は以下のとおりであった。

通所サービスの利用回数は週 5 回の利用が一般的であるが、重心児（者）の場合、医療の有無によって通所の頻度が異なる傾向にある。

医療行為が必要な場合、必要ない場合と比較して「週 5 回」利用する者の割合が低く（25.7%）、「週 1～2 回」以下が占める割合が全体の 42.8%を占めている。医療が必要ない場合の「週 1～2 回」以下の割合は 30.8%であった。

<図 10 通所サービスの利用頻度（医療行為あり・なし）>



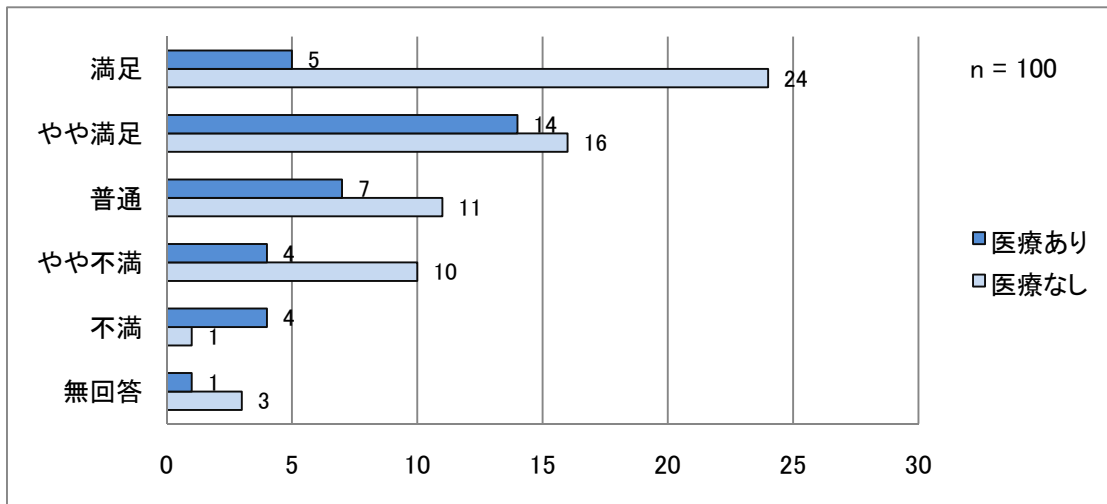
(3) 通所サービスを利用した感想

全体では「やや満足」が 30.0%と最も多く、「満足」および「やや満足」で全体の 59%を占めており、概ね満足が得られている結果となった。

医療の有無別で見ると、医療が必要な場合で「満足」「やや満足」と回答した者は 19 人 (54.3%) であり、医療が不要な場合の 40 人 (61.5%) を下回っている。

また、「不満」「やや不満」と回答した者は、医療が必要な場合は 8 人 (22.9%) で、医療が不要な場合の 11 人 (16.9%) を上回っている。

<図 11 通所サービスを利用した感想>

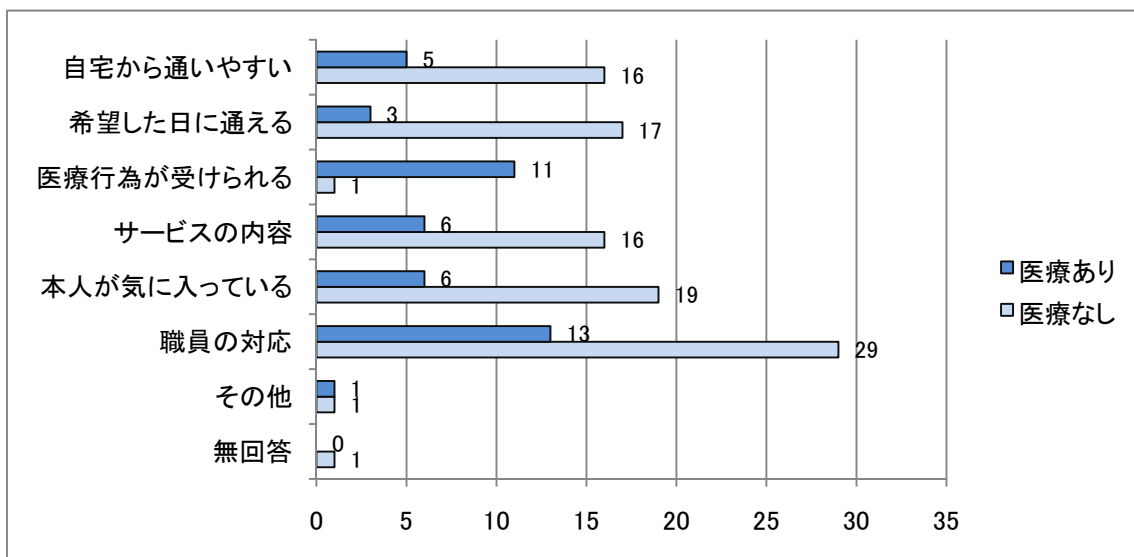


(4) 満足・やや満足の理由

通所サービスを利用した感想で、「満足」「やや満足」と答えた理由は、以下のとおりであった。

医療の有無を問わず、「職員の対応」が最も多く、全体の 28.9%を占めている。また医療行為が必要な場合は、「医療行為が受けられる」が次いで多くを占めている。

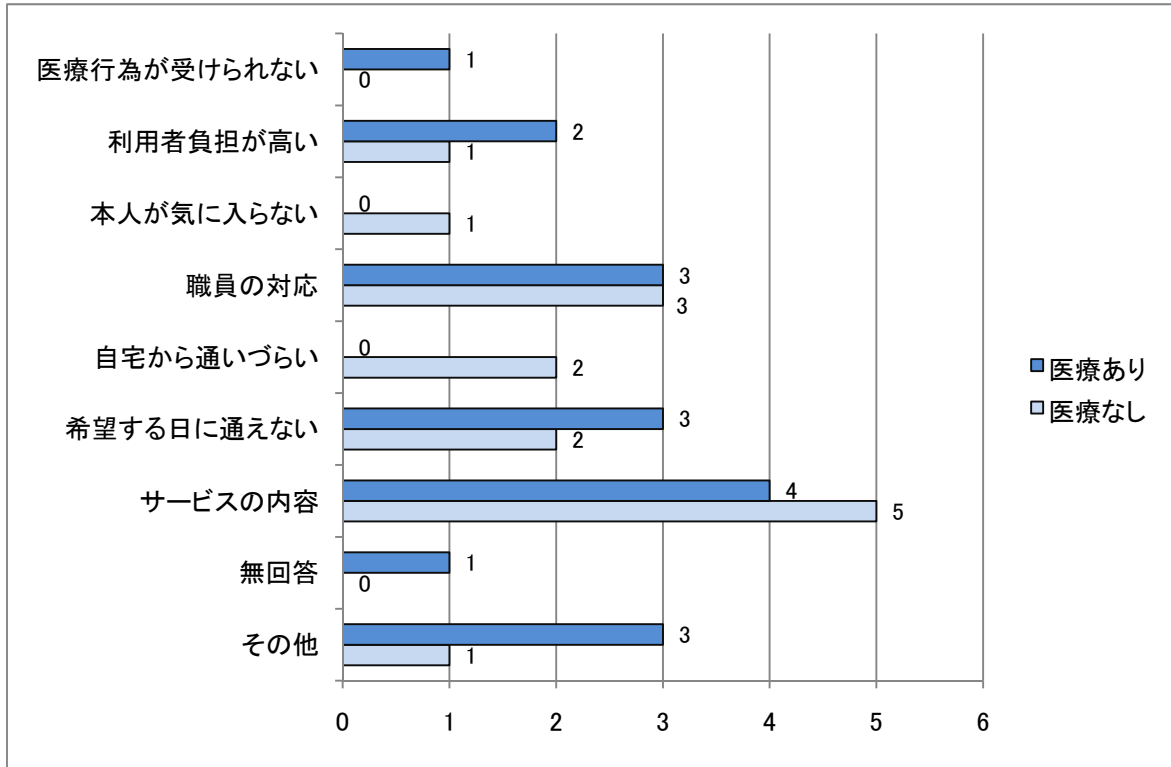
<図 12 通所サービスが満足・やや満足の理由（複数回答可）>



(5) 不満・やや不満の理由

医療の有無を問わず「サービスの内容」が最も多く、全体の 28.1%を占めている。

<図 13 通所サービスが不満・やや不満の理由（複数回答可）>

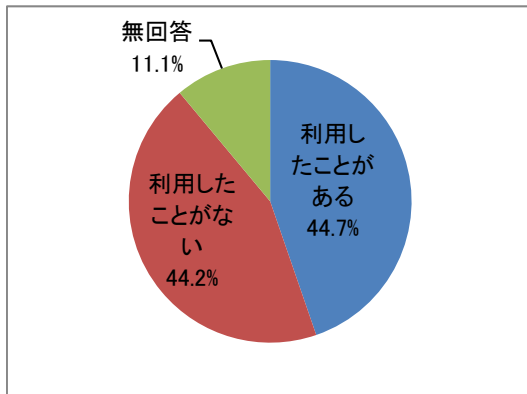


3. 短期入所

(1) 短期入所利用の有無

以下は、過去に短期入所（ショートステイ）を利用したことがあるかを尋ねた結果である。短期入所を「利用したことがある」と回答した者（44.7%）が「利用したことがない」と回答した者（44.2%）を上回った。

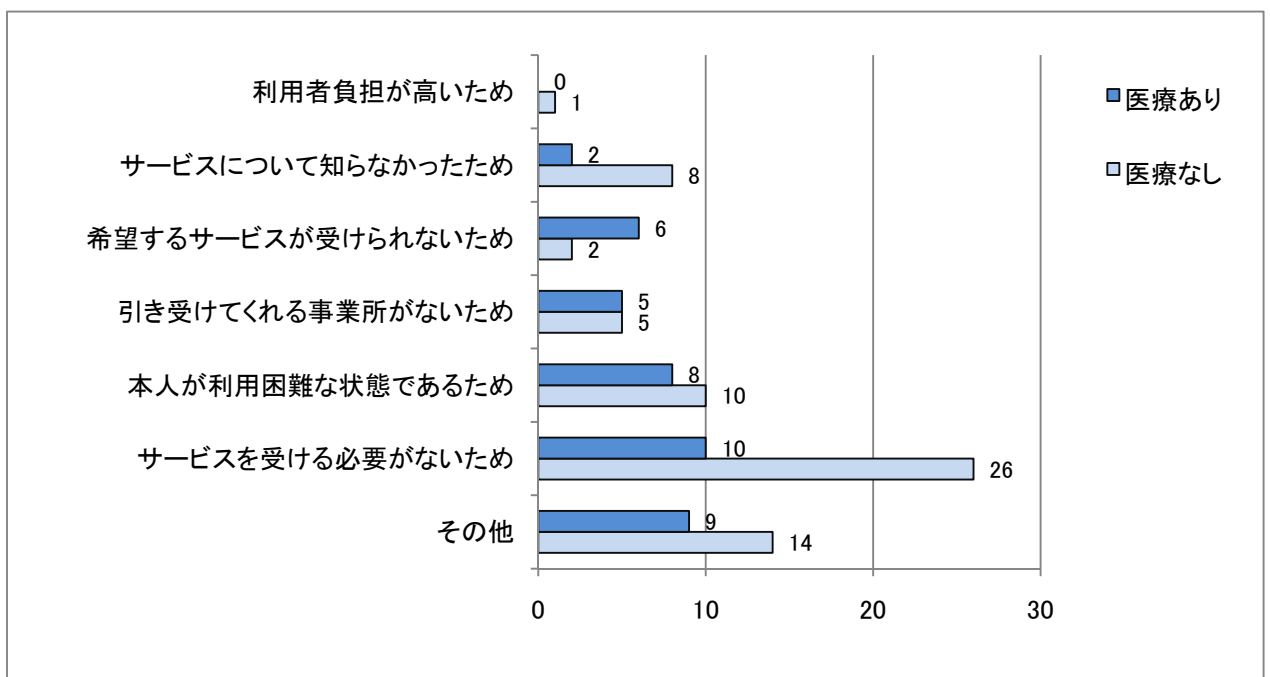
<図 14 短期入所サービスを利用したことがあるか>



(2) 短期入所を利用したことがない理由

短期入所を「利用したことがない」と回答した者について、その理由を尋ねたところ、医療の有無によらず「サービスを受ける必要がないため」が36名（57.5%）と最も多かった。「その他」としては、「施設入所中である」と回答した者を除き、「本人が拒否している」「まだ預ける気になれない」「利用したい日に利用できない」等であった。

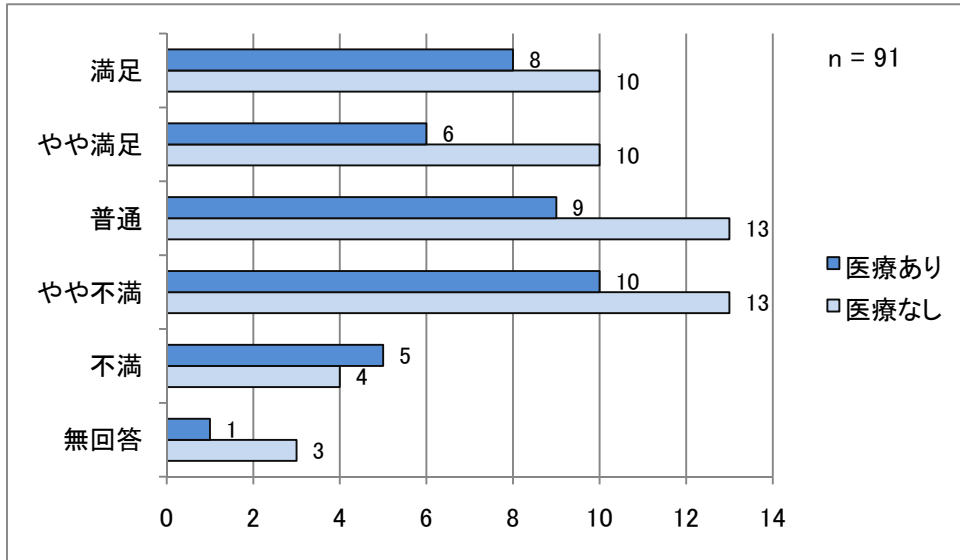
<図 15 短期入所サービスを利用したことがない理由（複数回答可）>



(3) 短期入所を利用した感想

以下は短期入所を利用したことがある場合の感想で、医療の有無によらず「やや不満」が23名（25.0%）で最も多い。

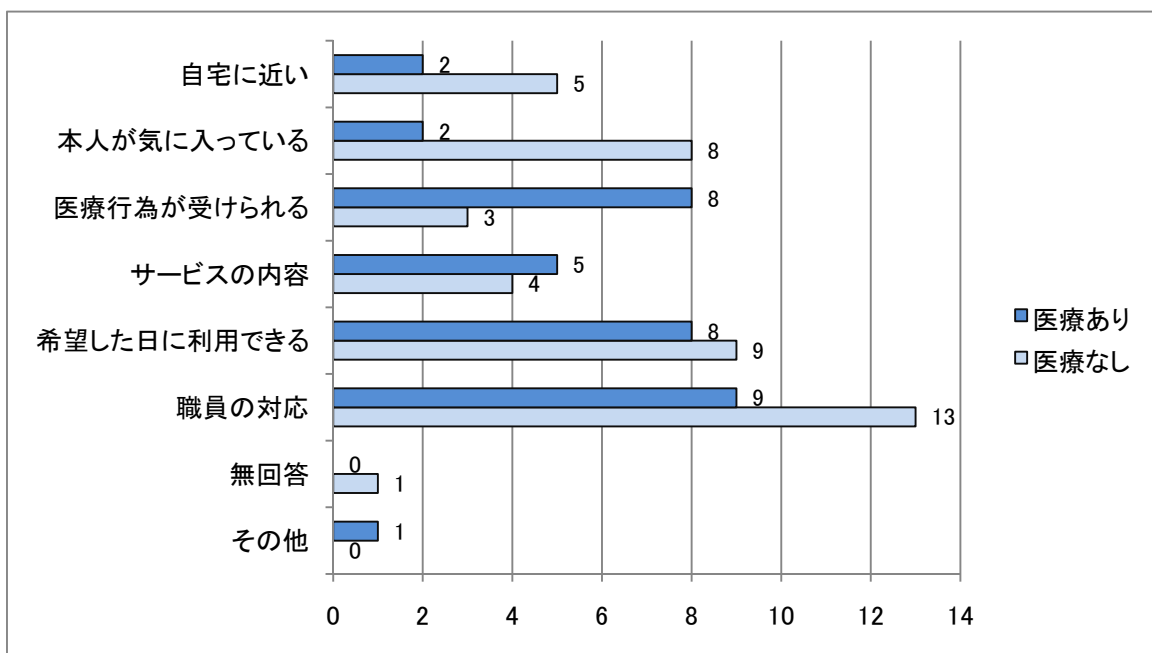
<図 16 短期入所を利用した感想>



(4) 満足・やや満足の理由

短期入所を利用した感想で、「満足」「やや満足」と回答した理由は以下のとおりである。医療の有無を問わず、「職員の対応」が最も多く、次いで「希望した日に利用できる」が多い。「医療行為が受けられる」または「本人が気に入っている」については、医療行為の有無によって差が生じた。

<図 17 短期入所が満足・やや満足の理由（複数回答可）>

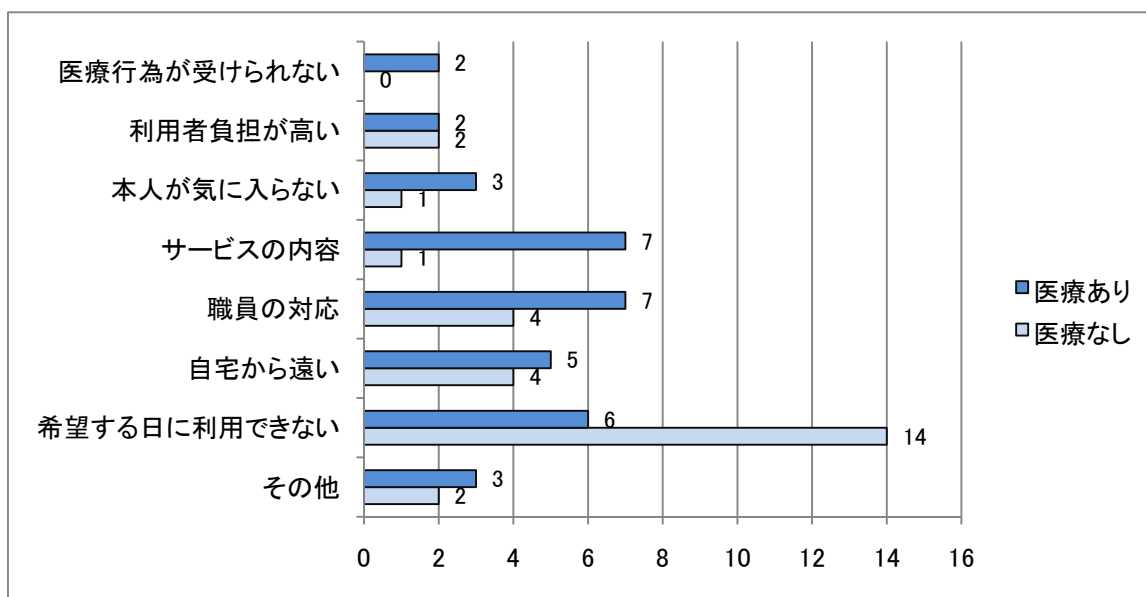


(5) 不満・やや不満の理由

短期入所を利用した感想で、「不満」「やや不満」と回答した理由は以下のとおりである。

「希望する日に利用できない」が20名と最も多く、全体の31.8%を占めている。医療行為を要する場合、「職員の対応」「サービスの内容」が上位を占めている。

<図 18 短期入所が不満・やや不満の理由（複数回答可）>



4. 訪問系サービス

表3～表8は、ホームヘルプ、訪問看護、訪問入浴サービス事業の利用状況である。

いずれのサービスも、「利用したことがない」と答えた者が7割程度であり、その理由としては「サービスを受ける必要がない」が最も多く、次いで「サービスについて知らなかった」が多く、医療の有無による差は見られなかった。

<表3 ホームヘルプを利用したことがあるか>

利用の有無	医療あり	医療なし	医療無回答	計	
ある	9	18	0	27	13.0%
ない	63	89	4	156	75.0%
無回答	12	13	0	25	12.0%
計	84	120	4	208	100.0%

<表4 ホームヘルプを利用したことがない理由（複数選択可）>

ホームヘルプを利用したことがない理由	医療あり	医療なし	医療無回答	計	
サービスを受ける必要がないため	24	39	3	66	38.8%
サービスについて知らなかったため	9	13		22	12.9%
本人が利用困難な状態であるため	3	8		11	6.5%
引き受けてくれる事業所がないため	5	1		6	3.5%
希望するサービスが受けられないため	4	2		6	3.5%
利用者負担が高いため		3		3	1.8%
その他	6	4		10	5.9%
無回答	13	32	1	46	27.1%
計	64	102	4	170	100.0%

<表5 訪問看護を利用したことがあるか>

利用の有無	医療あり	医療なし	医療無回答	計	
ある	12	5		17	(8.2%)
ない	59	99	4	162	(77.9%)
無回答	13	16		29	(13.9%)
計	84	120	4	208	(100.0%)

<表 6 訪問看護を利用したことがない理由（複数選択可）>

訪問看護を利用したことがない理由	医療 あり	医療 なし	医療 無回答	計	
サービスを受ける必要がないため	29	51	2	82	50.3%
サービスについて知らなかったため	7	11		18	11.1%
本人が利用困難な状態であるため	1	4		5	3.1%
引き受けてくれる事業所がないため	2			2	1.2%
希望するサービスが受けられないため	2			2	1.2%
利用者負担が高いため		1		1	0.6%
その他	8	4	1	13	8.0%
無回答	13	26	1	40	24.5%
計	62	97	4	163	100.0%

<表 7 訪問入浴を利用したことがあるか>

利用の有無	医療 あり	医療 なし	医療 無回答	計	
ある	16	11		27	(13.0%)
ない	55	94	4	153	(73.5%)
無回答	13	15		28	(13.5%)
計	84	120	4	208	(100.0%)

<表 8 訪問入浴を利用したことがない理由（複数選択可）>

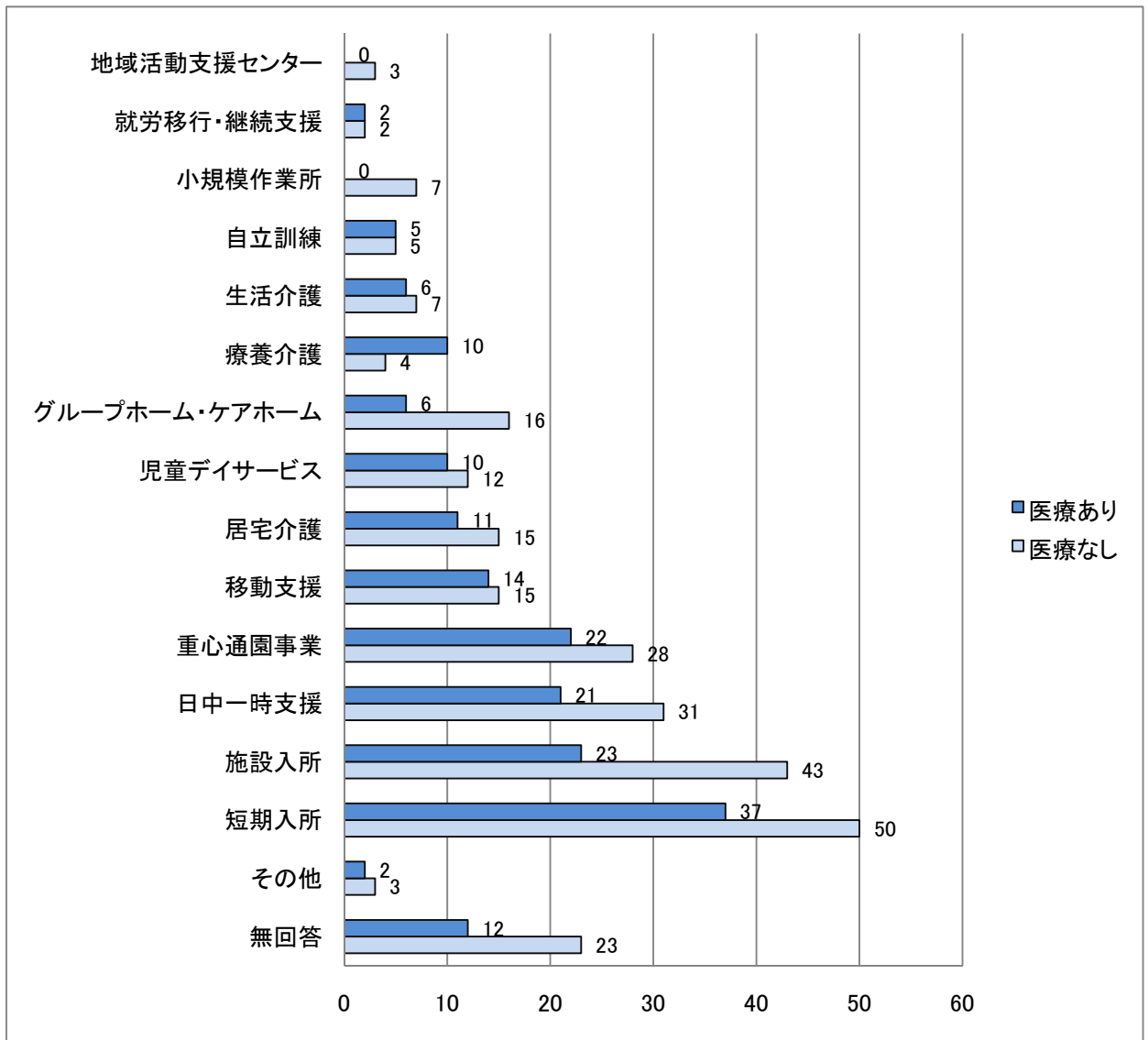
訪問入浴を利用したことがない理由	医療 あり	医療 なし	医療 無回答	計	
サービスを受ける必要がないため	27	46	3	76	46.4%
サービスについて知らなかったため	2	9		11	6.7%
本人が利用困難な状態であるため	3	6		9	5.5%
引き受けてくれる事業所がないため	2			2	1.2%
利用者負担が高いため		2		2	1.2%
希望するサービスが受けられないため	2			2	1.2%
その他	8	8		16	9.8%
無回答	18	27	1	46	28.0%
計	62	98	4	164	100.0%

5. 地域に必要と思うサービス

以下は、重心児（者）が居住する地域において必要と思うサービスを尋ねた結果である。医療の有無によらず「短期入所」が最も多く、次いで「入所施設」であった。

上位の項目に比べ、「グループホーム・ケアホーム」または「療養介護」において、医療の有無による差が生じた。

<図 19 地域に必要と思うサービス（3つまで選択可）>



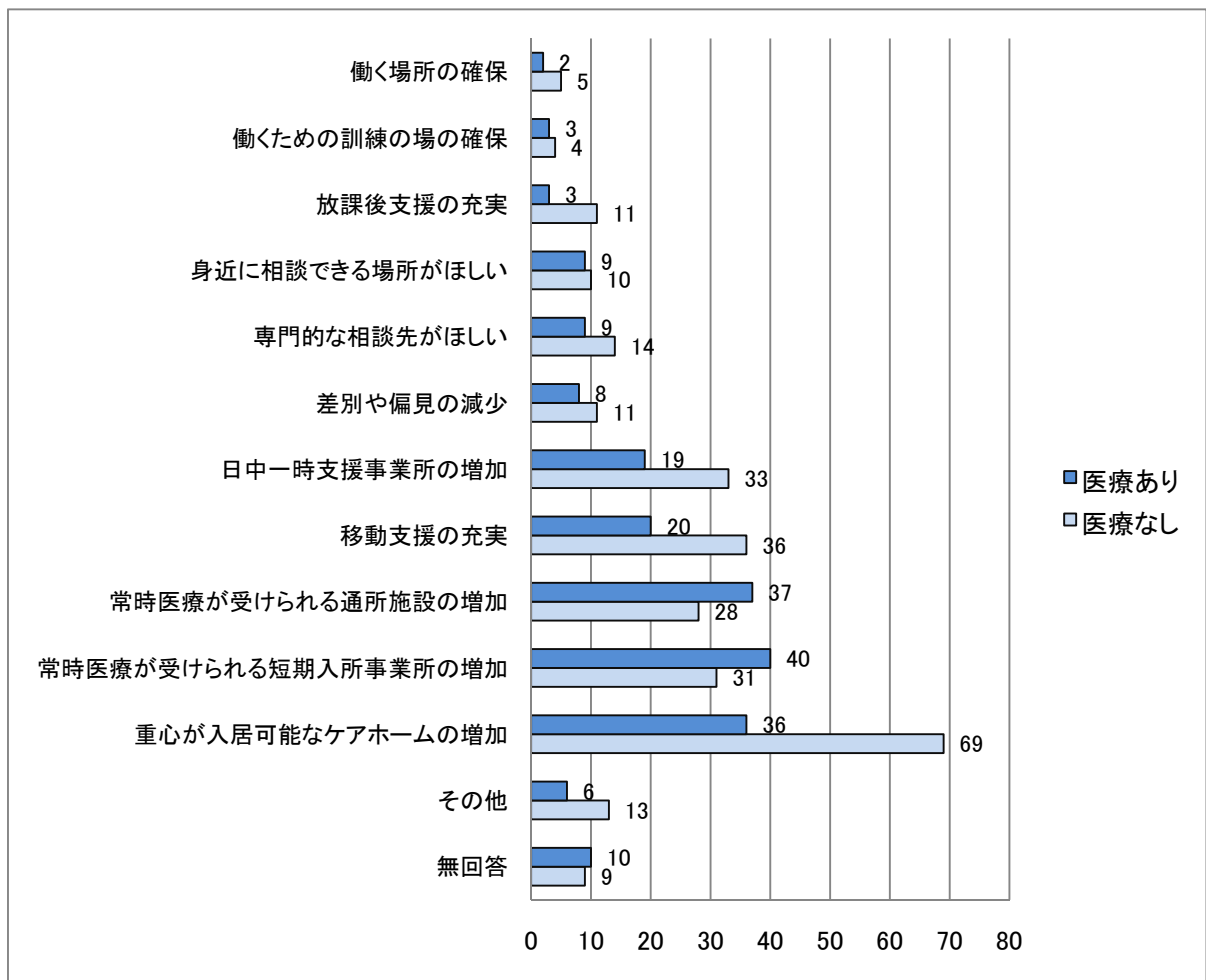
6. 今後の重症心身障がい児（者）の施策に望むこと

以下は、新潟市における重心児（者）のための施策に望むことを尋ねたものである。医療の有無によらず、最も多い項目は「重症心身障がい児（者）が入居可能なケアホームの増加」であった。また、医療の有無によってそれぞれ上位の項目が異なる結果となった。

医療が必要な場合は「医療行為が常時受けられる短期入所事業所の増加」「医療行為が常時受けられる通所施設の増加」が上位を占めている。

医療行為が不要な場合、「重症心身障がい児（者）が入居可能なケアホームの増加」が最も多く、次いで「重症心身障がい児（者）の移動支援の充実」となっている。

<図 20 今後の重症心身障がい児（者）の施策に望むこと（3つまで選択可）>



重症心身障がい児（者）のサービス利用に関するアンケート

① 障がいをお持ちの方について

障がいをお持ちの方ご本人についてお伺いします。

①お住まいの区	_____区	②年齢	_____歳
---------	--------	-----	--------

以下、障がいをお持ちの方について、あてはまるものを○で囲んでください。

②性別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性 ・ 女性
③障がい程度区分の認定を受けていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受けている …障がい程度区分 _____ ・ 受けていない
④主な介護者の年齢	<ul style="list-style-type: none"> ・ ~20代 ・ 30代~40代 ・ 50代~60代 ・ 70代~
⑤平日の日中の過ごし方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設入所している ・ 通園または通学している ・ 通所 …週 _____ 回通所している ・ 自宅で過ごしている ・ その他（ _____ ）
⑥医療行為が必要ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要 ・ 必要ない …次頁 2 へお進みください。
<p>※医療行為が必要と答えた方</p> <p>⑦必要な医療行為を○で囲んでください。 また、頻度はどのくらいですか。（日○回、週○回、月○回、年○回など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経管栄養 （頻度 _____ ） ・ 痰の吸引 （頻度 _____ ） ・ 人工呼吸器 （頻度 _____ ） ・ 酸素療法 （頻度 _____ ） ・ その他（ _____ ）
<p>※医療行為が必要と答えた方</p> <p>⑧どなたが医療行為を行っていただけますか。（複数回答可）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師・看護師 ・ 学校・施設職員（学校・施設配置の看護師を含む） ・ 保護者 ・ その他（ _____ ）
<p>⑨障がいについてご家族が相談できる場所はありますか。 ある場合は、どちらに相談していますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談できるところがある （ 相談先（複数回答可） _____ ） ・ 相談できるところがない

④ ホームヘルプ・訪問看護・訪問入浴の利用状況について

(1) ホームヘルプ（居宅介護）について

①これまで、ホームヘルプ（居宅介護）を利用したことがありますか。	<ul style="list-style-type: none">・ 利用したことがある・ 利用したことがない
利用したことがないと答えた方 ②利用したことがない理由で、あてはまるものがありましたら○で囲んでください。 (複数回答可)	<ul style="list-style-type: none">・ サービスについて知らなかったため・ サービスを受ける必要がないため・ 引き受けてくれる事業所がないため・ 希望するサービスが受けられないため・ 本人が利用困難な状態であるため・ 利用者負担が高いため・ その他 ()

(2) 訪問看護について

①これまで訪問看護を利用したことがありますか。	<ul style="list-style-type: none">・ 利用したことがある・ 利用したことがない
利用したことがないと答えた方 ②利用したことがない理由で、あてはまるものがありましたら○で囲んでください。 (複数回答可)	<ul style="list-style-type: none">・ サービスについて知らなかったため・ サービスを受ける必要がないため・ 引き受けてくれる事業所がないため・ 希望するサービスが受けられないため・ 本人が利用困難な状態であるため・ 利用者負担が高いため・ その他 ()

(3) 訪問入浴について

①これまで訪問入浴サービスを利用したことがありますか。	<ul style="list-style-type: none">・ 利用したことがある・ 利用したことがない
利用したことがないと答えた方 ②利用したことがない理由で、あてはまるものがありましたら○で囲んでください。 (複数回答可)	<ul style="list-style-type: none">・ サービスについて知らなかったため・ サービスを受ける必要がないため・ 引き受けてくれる事業所がないため・ 希望するサービスが受けられないため・ 本人が利用困難な状態であるため・ 利用者負担が高いため・ その他 ()

